

20260624_【閑話休題】テストは「返却されてから」が大切です

昨日で定期考査が終わりました。

教室を回っていると、答案用紙に一生懸命書き込んでいる人、じっと考え込んでいる人など、さまざまでしたが、それぞれの人がそれぞれのやり方で前向きに取り組んでいました。

少し眠そうな人もいましたが、夜中の0時を過ぎると脳の機能は20%から30%近く低下するそうです。そして、本人にはその自覚がなく、「がんばったのに結果につながらなかった」というギャップが生まれるとのこと。

また、朝起きてから、約2時間から4時間くらいが、脳の機能はピークになるとも言われています。少し早起きする習慣をつけてみてはいかがでしょうか。

さて、今日からは、早速返却が始まっています。返却の後は、先生からの解説を聞きながら、正解を記入する…だけでは、せっかくのテストがもったいないと思います。

テストを受けて、点数を気にするのは当然ですが、それ以外に気をつけるところと言われたら、どう答えますか。

間違ったところを見直す…ただ見直すだけでは不十分です。どこが、なぜ間違ったのかまで考えないと、同じ間違いを繰り返してしまいます。

でも、もっと大切なことがあります。

それは、「正解だったところは、本当に理解して正解しているのか」ということです。間違っているところは、はっきりわかるので、意識しやすいのですが、正解しているところを見直す人はそんなにいないと思います。でも、そこに落とし穴があります。

途中まで理解できていることで、正解してしまうこともありますが、そのまま見過ごされることで、中途半端な理解で終わってしまうことが一番の問題です。それが積み重なっていくと、「分かったつもりで実はわかっていないところ」が積み重なっていき、結果的にわからないところが増えていくことになります。

テストで大切なのは、自分自身が、どこが理解できていて、どこが理解できていないかを、自ら自覚することです。

点数だけに気を取られず、返却されたテストをしっかりと見直して、今の自分の学力を確認して、次につなげていきましょう。